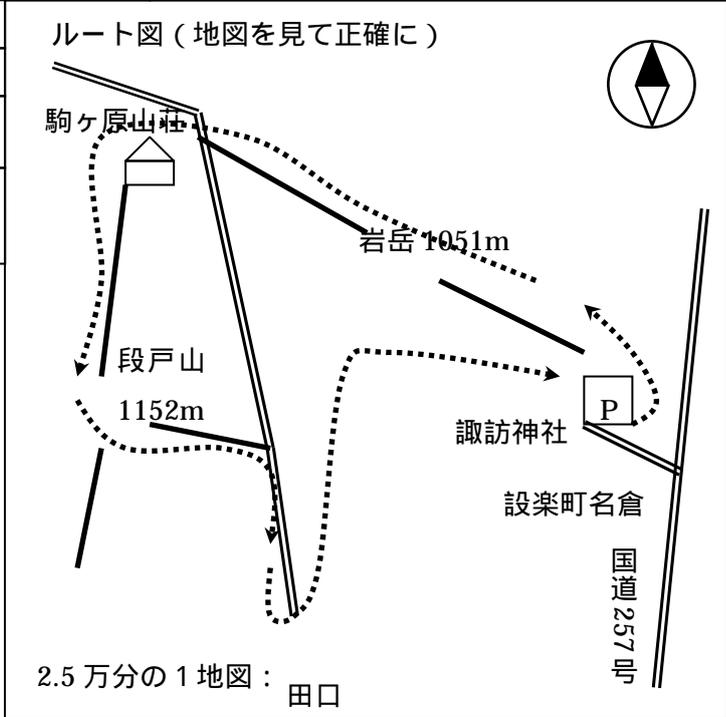


| | | | | | |
|---------------------------------------|--------|-----|----------------------|------------|---------|
| 2 月度 例会 個人 山行報告書 | | 報告者 | 中山 正夫 | 参加 メンバー | CL:中山正夫 |
| | | 報告日 | 3/9 | | |
| 山 域 | 奥三河 | 山行日 | 11 年 02 月 27 日 (土) ~ | | |
| 山 名 | 岩岳・段戸山 | | | | |

| | | |
|------|--------------|--------------------|
| 山行目的 | バイクで早春の奥三河山行 | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|--------------|--------------------|

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



2/27(日)曇り後晴れ
 04:30 自宅発
 06:20 名倉諏訪神社着
 06:40 諏訪神社発
 07:40 ~ :50 岩岳頂上
 08:50 岩岳林道
 08:20 駒ヶ原山荘
 08:30 駒ヶ原橋登山口
 08:45 ~ :55 休憩
 09:25 ~ :35 段戸山頂上
 10:00 ~ :05 林道出合
 10:30 沢下降
 10:40 名倉林道
 11:10 諏訪神社着
 14:30 自宅着



山行報告 4:30 に、自宅をバイクで中型ザックを担ぎ出発する。新城から、設楽町田口へ向かい名倉の湯谷諏訪神社に入っていく。神社の駐車スペース 6:20 着。厚着した服を薄着に着替え泥だらけの林道を歩き出す。すぐに、鉄塔補修路に入って行く、やがて鉄塔と別れて杉林の顕著な尾根に取り付く、所々に赤テープが付けてあり、熊笹の藪でもルートはハッキリわかる。かたい雪がめだつ頃ちょうど 1 時間歩き岩岳 7:40 着。岩の上からの展望は、南側の鹿島山、大鈴山と名倉カントリークラブが見える。雪に足を取られないよう気を付けて岩を下り岩岳林道を駒ヶ原に向かう。天気は曇りから快復傾向の晴れ間が見える。駒ヶ原山荘立ち入り禁止、結局休憩なしで駒ヶ原橋登山口を通過する、松林の中休憩 8:45。雪は 30cm ぐらいたか、アイゼンもスパッツの付けず段戸山頂上 9:25 着。展望は、樹間から大川入山方面がわずかに見える程度。トレースをたよりに頂上から少し南に行き東の尾根を急降下、何度か渡渉し林道にでる。なんと細い林道の横に 2 車線の広域農道の大工事の現場、幸い今日は日曜日で発破がなく通過できる、こんな過疎地域に何のために、誰のために、自然を壊して作っているのか疑問。工事の終点の崖から、

強引に名倉側の沢を下ると、すぐに名倉林道に出る。後は、ひたすら、工事車両で泥だらけになったアスファルトの林道をえんえん下る。名倉側も山をくずし、沢を埋めて、大きな橋梁を作っている。事業仕分けはどこかと思う。諏訪神社 11:10 着。結局誰にも会わない登山だった。

リーダー所見 三河が生んだ、有名な地理学者、志賀重昂の三河男児の歌や岡崎高校の校歌に歌われた、段戸山に初めて登れたのは、よかった。山の中に、100 台以上の建設重機やダンプがあるのに圧倒されて、登山の感激がうすれたのは、残念だった。帰り道の四谷の千枚田は梅の花がきれい、山里にも春が来たと感じた。

岩岳や一人ぼっちの雪の道
 団雪だ三河男児だ段戸山
 山壊し大型農道誰のため?
 バイク風梅の香薫る千枚田
 沖仙

確認 (リーダー)
 中
 11/03/05
 山
 作成 (報告者)
 中
 11/03/06
 山